

## 自分らしく生きる

酒匂中学校 一年 日野 杏香

みなさんは、最近「性は多様にある。」と言われているのを知っていますか。男の人が男の人を、女の人が女の人を好きになったり、体と心の性別が違う人も世の中にはいます。

私も性別は女ですが、一人称は「俺」です。私は、男になりたいわけではなく、ただ一人称が「俺」というだけです。けれど、私にとってそれは、大きな悩みでした。

この一人称は、小学五年生から使っています。服はズボンがほとんどで、スカートやワンピースは少なく、制服も学生服にしました。

もし、学生服がなかったら、それはそれで仕方ないとセーラー服を着ていたかもしれないかもしれません。でも、イヤイヤ着ていたと思うし、学生服を選ぶようになっていなければ、純粋に学校を楽しめてなかったと思います。だから、とても助かりました。

私が学生服を着て登校しても、みんな何も言わずに、普通に接してくれたたり、「学生服似合ってる。」「かっこいい。」と言ってくれたりして、とてもうれしかったです。

でも、こんな私に違和感を感じる人もいます。「女なんだからそれはおかしいでしょ。」と思う人も多いと思います。だから私の考えを他の人に押しつける気はありません。ただ、世の中にはこういう人もいるんだと知っておいてほしいです。

きつと、「自分もそうなんだ。」と言えない人もいると思います。自分からカミングアウトするのはとても勇気のいることだと思います。私もたくさん悩んでこの作文を書くことに決めました。だから、こういう人たちが身近にいても距離をとらずに、いつも通り、特別扱いなどしないでいてくれると、それが一番うれしくて安心することだと思います。

私の周りにいる人たちは、とても優しい人たちばかりです。私の一人称が「俺」でも、気にせず私と一緒にいてくれて、すごく安心します。友達の中には、俺の一人称を「私」に戻すのに反対してくれた人もいて、すごくうれしかったです。

私は、周りの人たちのおかげで、学校に行くことを楽しみにできていますし、不安なく通えてもいます。私のことを特別扱いせず接してくれている友達や先生のおかげで、安心して学校に行けているのです。

だから、本当に私は恵まれていると思います。私が学生服を着て登校しても、一人称が「俺」でも、周りの人たちは変わらず接してくれて、一緒にいてくれて本当にうれしいです。

私は、どの一人称を使うか、どんな風に生きるか、それはその人の個性だと思います。他の人に決めつけられたり、バカにされたりするものではないとも思います。

どんな人でも、自分の悩みやコンプレックスをバカにされたりしたら、とてもつらいと思います。だから私は、そういうことをせずに自分らしく生きていきたいと思えます。

そして、それが性の悩みではなかったとしても、とても小さくて些細なことだとしても、その人が悩んでいたりと、心配しているならば、それはふざけたり、笑うようなことではなく、大事にしないといけないものだと思えます。そして、少しでも背中を押すことができればいいと思います。

私のこの作文を読んで、少しでもこういう考えや思いを知ってもらえたらうれしいです。そして、私のように悩んでいる人の助けになれたらいいと思います。